

▶ 2021年3月期
第1四半期 決算説明資料〔IFRS〕

証券コード： 5938

(2020年4月 – 2020年6月)

株式会社 LIXILグループ
2020年8月6日



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています
各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS（当社財務報告）
	継続事業
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益（CE）
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
	継続事業からの当期利益
	非継続事業
	非継続事業からの当期利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益（CE）**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」に開示(2020/5/1および6/9)のとおり、株式譲渡の対象となったベルマステリーザ社及びその子会社、LIXILピバに関連して発生する損益の全てを「非継続事業」に分類しています。比較のため前期も同様に組替を行っています。

2021年3月期第1四半期 決算ハイライト

▶ 新型コロナウイルス感染症拡大影響、前年度消費増税前の需要増からの反動減により減収減益

- **売上収益 3,105億円、前年同期比15%減**
国内12%、海外22%減（為替影響を除く海外18%減）
- **事業損失 26億円、前年同期比131億円減**
新型コロナウイルス感染症拡大による急激な需要減により減益。大幅な販管費の削減と海外の回復で6月単月では黒字に転換
- **四半期損失⁽¹⁾ 37億円、前年同期比166億円減**
前期計上した関連会社に対する持分の譲渡益110億円の剥落、および、上記の事業利益の減少により減益

子会社の売却

- **LIXILピバ：株式譲渡決定、11月予定**
公開買付け成立（7/22公表）⁽²⁾ **売却額 566億円**
売却益 約200億円（見込）
（非継続事業からの当期損益）
- **ペルマステイリーザ⁽³⁾：4か国中3か国⁽⁴⁾より競争法上の許可を取得完了。**
その他売却前提条件については充足済み

LIXIL

(1) 四半期損失=親会社の所有者に帰属する四半期損失
(2) 2020年7月22日公表「（開示事項の経過）当社の連結子会社に対する公開買付けの結果に関するお知らせ」

(3) 2020年5月1日公表「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」
(4) 5/1開示では5か国を表示。EU・中国・ロシアが認可。米国は不要の回答あり。

3

2021年3月期 第1四半期連結業績結果

	億円	20/3期	21/3期	前年同期比	
		1Q 3ヵ月 実績	1Q 3ヵ月 実績	増減	%
		遡及修正後 ⁽⁴⁾	実績		
継続事業	売上収益	3,636	3,105	-532	-14.6%
	売上総利益	1,189	967	-222	-18.7%
	(%)	32.7%	31.1%	-1.5pt	-
	事業利益 ⁽¹⁾	105	-26	-131	-125.1%
	(%)	2.9%	-0.8%	-3.7pt	-
非継続事業含む	非継続事業を含む 最終四半期損益 ⁽²⁾	129	-37	-166	-
	EPS (円)	44.42	-12.82	-57.24	-
継続事業	EBITDA ⁽³⁾	295	177	-118	-
	(%)	8.1%	5.7%	-2.4pt	-

- 事業利益率は3.7pt悪化（売上総利益率は1.5pt悪化、売上収益減少により販管費率は2.2pt悪化）
- 売上総利益率・事業利益率の悪化は、利益率の高い海外事業の売上構成比率の低下と、製造部門における操業度の低下が主因
- 販管費は3ヵ月で前年同期比91億円の抑制

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当
(2) 親会社の所有者に帰属する四半期損益
(3) EBITDA=事業利益+減価償却費

(4) ペルマステイリーザ社とLIXILピバ社の株式売却を決定したことに伴い、ペルマステイリーザ社及びその子会社、並びにLIXILピバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に紐替

4

▶ 新型コロナウイルス感染症拡大状況下における足元状況・業績予想

新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

▶ 生産・調達・販売の状況（2020/7/31時点⁽¹⁾）

生産

国内外全拠点において稼働

調達

国内外全拠点において、大きな問題なし

販売

新型コロナウイルス感染症拡大の第2波の影響を注視

日本

新築：着工数急減の影響が遅れて業績に影響を及ぼすことから
8月を底に回復を見込む

リフォーム：居住中の住宅への訪問が控えられたこと、ショールームでの
ソーシャルディスタンス確保のための来場者抑制などを背景として、
長期的には強い潜在的な成長要素をみせるものの、緊急事態宣言
解除後の回復に遅れ。第3四半期以降、回復を見込む

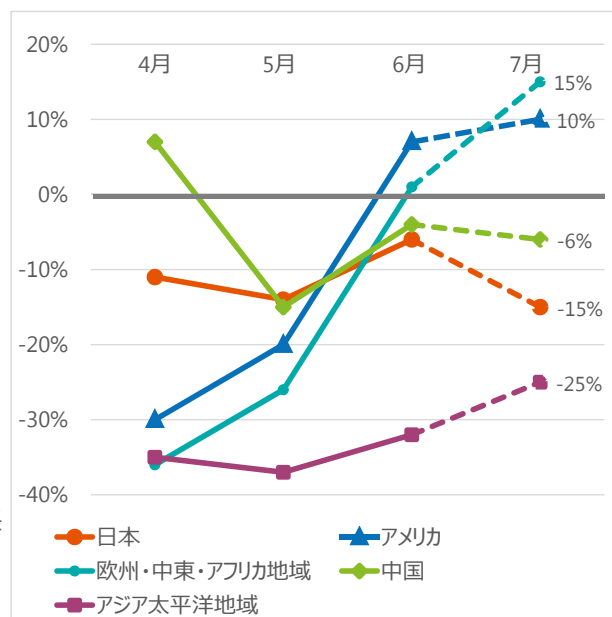
アメリカ、欧州・中東・アフリカ地域、中国

5月末決算発表時の見通しより、やや良好に推移。
アメリカ・欧州地域では、6月には現地通貨ベースで前年を上回る成長

アジア太平洋地域

経済の戻り鈍く、他の地域に比較して緩やかに回復

地域別月次販売足元状況（前年同月比）



4-6月は実績（マネジメントベース）、7月は出荷高に基づく見込値

業績予想・配当予想

通期見通し

億円	20/3期 実績	21/3期 見通し	前年同期比
継続事業	遡及修正後 ⁽²⁾	見通し	増減%
売上収益	15,144	13,500	-11%
事業利益 ⁽¹⁾	523	250	-52%
(%)	3.5	1.9	-1.6pt

通期見通しの前提

海外は、東南アジアを除き、第2四半期から本格的に回復。日本は、第3四半期から連結会計年度末に向けて、リフォーム事業が回復することを前提として事業利益を予想。これにより下期の事業利益は大幅に改善すると見込んでいる

営業利益以下、最終利益についての業績見通しについて

現在、事業ポートフォリオの見直し、国内事業活性化を目指した各種施策などに取り組んでいるものの、改革プランの一部について、計画策定の最終段階にあることから、これに関連する費用等を含めた上で、第2四半期決算発表時に公表を予定

配当予想

通期70円（上期35円、下期35円）を予想

（参考）2020年3月期実績：通期70円（上期35円、下期35円）



(1) 日本基準の「営業利益」に相当

(2) ヘルマステイラー社とLIXILビバ社の株式売却を決定したことに伴い、ヘルマステイラー社及びその子会社、並びにLIXILビバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に組替

7

経営戦略の進捗状況

中期計画においては、持続可能な成長を可能とすべく外部環境の変化に影響を受けにくい経営構造への変革を目指す

外部環境の逆風あるも、優先課題に変化なし

4つの優先課題:

✓ 組織の簡素化と基幹事業への集中

- 事業ポートフォリオの見直し、日本における営業組織見直しなど
- 概ね完了

✓ 日本事業の収益性改善のための取り組み

- ハウジング事業の生産改革（生産のプラットフォーム化）は、エクステリア・インテリア事業については完了
- 働き方改革の推進（在宅勤務の徹底、成果型への転換など）については、大きく前進
- 最適生産体制・最適人員配置のデザインは完成
- 一連の人事施策については年内に完了の見込み

✓ ウォーター事業における海外事業の成長の促進

- ブランド・デザインへの投資：成長のためのロードマップについては策定完了
- 全社最適を目指した体制の構築およびシナジー効果の最大化を目指しLIXIL Internationalを設立

✓ イノベーションによる長期的な成長基盤の確立

- デジタルとアナログを融合した（ハイブリッドな）新たな営業活動をスタート（オンライン・ショールーム）
得られた知見を基に、より高度なプロセスの自動化を目指す
- 日本において培われた浄水技術と水栓技術を結びつけ、世界の水問題に取り組む



8

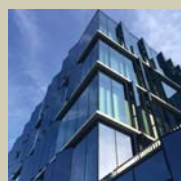
セグメント別決算の概要



Water Technology



Housing Technology



Building Technology



住宅・サービス

Water Technology / ウォーターテクノロジー事業

海外事業はコロナ影響により減収となるも、6月以降アメリカと欧州で回復顕著。
日本事業は新設着工減とコロナ影響により減収減益

4月-6月 億円		21/3期 1Q	YoY 現地通貨 ベース	
地域別売上 (1)	アメリカ	297	-15%	
	欧州、中東、 アフリカ地域	310	-20%	
	中国	120	-7%	
	アジア太平洋地域	86	-31%	
	日本	913	-11%	
	連結調整	-72		
	Water Technology	1,655	-16%	事業利益率%
事業利益	海外	1	-99%	0.1%
	日本	29	-58%	3.2%
	Water Technology	30	-78%	
	事業利益率	1.8%	-5.0pt	

売上収益

■ アメリカ

- ✓ 前半のロックダウン（都市封鎖）影響により前年比-15%となるも、6月単月では小売り・eコマース堅調により前年比+7%で回復基調

■ 欧州、中東、アフリカ地域

- ✓ ロックダウン後の小売り・eコマースの堅調さを背景に、ドイツを中心とした欧州地域で回復基調。欧州地域6月は前年比+1%、7月は前年比+16%を見込む

■ 中国

- ✓ 前年比-7%。ロックダウン後の規制緩和により回復基調

■ アジア太平洋地域

- ✓ 前年比-31%。新型コロナウイルス感染症拡大影響（ロックダウン、経済の冷え込み、等）から緩やかな回復

■ 日本

- ✓ 1-3月の新設着工減に加え、コロナ影響により減収
- ✓ “ニューノーマル”への対応において、水栓金具の需要伸長
 - ・ タッチレス水栓 前年比43%増

(注) 前年比（20/3期、21/3期4-6月の3ヵ月実績比）

事業利益

■ 海外・日本共通

- ✓ 売上減の影響を販管費抑制でカバーするも減益

Housing Technology / ハウジングテクノロジー事業

国内需要環境の悪化により減収減益も、アルミ価格の低下・販管費抑制で挽回し、利益率は厳しい環境下においても健闘

4月-6月 億円		21/3期 1Q	YoY
地域別売上	日本	1,158	-13% ⁽¹⁾
	海外	16	-39% ⁽²⁾
	Housing Technology	1,173	-14%
事業利益	Housing Technology	52	-30%
	事業利益率	4.5%	-1.0pt

■ 日本

- ✓ 1-3月の新設着工減に加え、コロナ影響により減収となるも、販管費抑制により事業利益率は、前年比1.0pt減に抑制
- ✓ 外部環境厳しくも、中期施策は着実に実行中。20/3月期に拠点集約 1件を完了。21/3期も引き続き投資効率の向上を目指した諸施策（プラットフォーム化等）を推進
- ✓ “ニューノーマル”への対応、および、近年の日本国内における台風の大型化・被害の深刻化を背景として、下記商品群における需要伸長
 - ・ 玄関用収納網戸：前年比80%増
 - ・ 宅配ボックス：前年比70%増
 - ・ リフォーム用シャッター：前年比40%増

(注) 前年比 (20/3期、21/3期4-6月の3ヵ月実績比)

LIXIL (1) 売却等影響除く -11%
(2) 売却等影響除く -25%

11

Building Technology / ビルディングテクノロジー事業、住宅・サービス事業等 (H&S)

オリンピック需要の収束による需要減により減収。減益幅改善

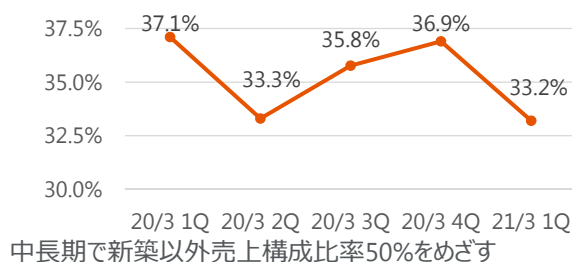
4月-6月 億円		21/3期 1Q	YoY
ビルディング	売上	213	-11%
	事業利益	-9	-
	事業利益率	-4.2%	+1.5pt

- オリンピック需要の収束による需要減により、減収
売価改善による受注粗利の改善、
販管費の抑制により減益幅改善

前年の消費税増税前の旺盛な新築需要剥落を主因として減収減益

4月-6月 億円		21/3期 1Q	YoY
H & S	売上	113	-14% ⁽²⁾
	事業利益	4	-53%
	事業利益率	3.9%	-3.2pt

- 新築以外⁽¹⁾売上構成比 (前年同期比 -3.9pt)



LIXIL (1) 既存・非新築領域、新事業領域
(2) シニアライフカンパニー売却影響除く -10%

12

連結財政状態

億円	[A] 20/3月末	[B] 20/6月末	増減		[B]-[A] 増減合計
			LIXILビバ 売却決定 による振替	その他 (実質増減)	
現金及び現金同等物	959	1,608	③ -100	① 749	649
営業債権及びその他の債権	3,071	2,683	-45	② -343	-388
棚卸資産	2,276	1,922	-428	74	-354
売却目的で保有する資産	582	3,886	3,330	-26	3,304
その他	14,028	11,268	-2,757	-3	-2,760
資産合計	20,915	21,366	0	451	451
営業債務及びその他の債務	3,365	2,643	-426	② -296	-722
有利子負債	8,326	7,000	③ -2,082	① 756	-1,326
売却目的で保有する資産に直接 関連する負債	919	3,569	2,688	-38	2,650
その他	2,954	2,856	-181	82	-99
負債合計	15,564	16,068	0	504	504
自己株式	-489	-489	-	0	0
その他	5,840	5,788	-	-52	-52
純資産合計	5,351	5,299	-	-52	-52
(1) 自己資本比率(%)	24.0%	③ 23.2%			-0.8pt
(2) 一株当たり純資産(円)	1,730.99	1,710.13			-20.86
期末株式数(千株)	290,103	290,102			-1
Net有利子負債	7,367	5,392			③ -1,975

① 手元資金確保のため短期借入金及びCPの増加影響。 ② 売上減少に伴う債権・債務の減少

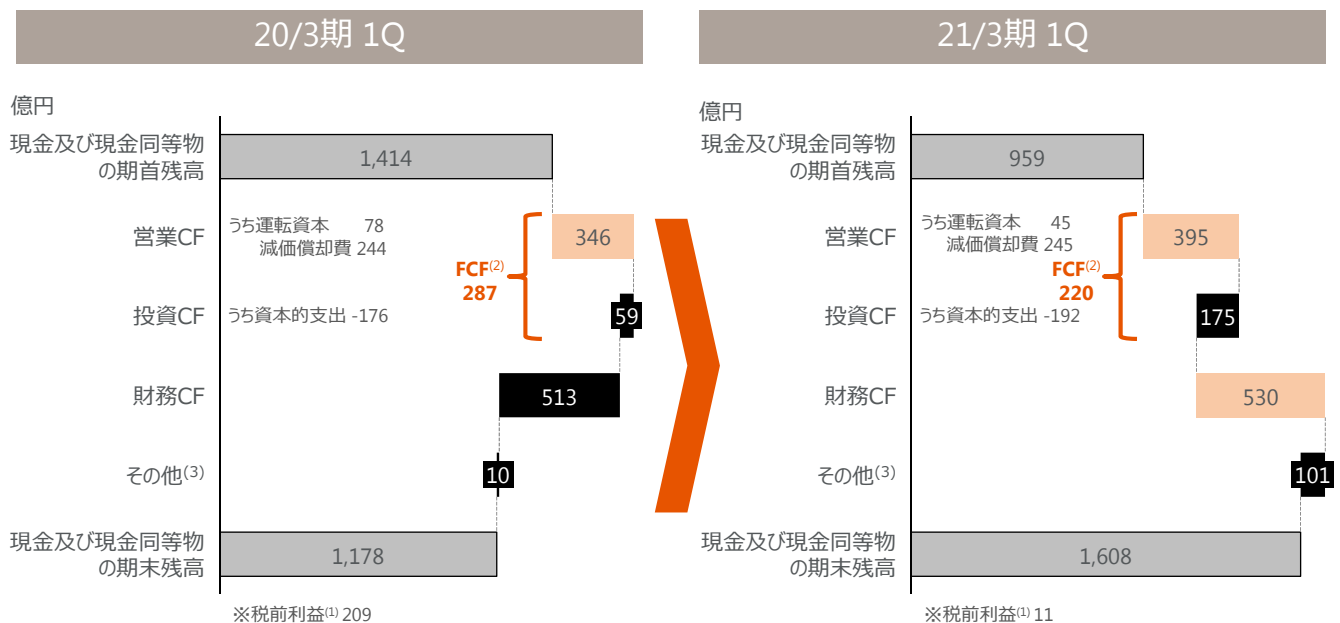
③ 自己資本比率は、20/3月末比 0.8pt悪化。但し、11月予定のLIXILビバ株式売却・非連結化により約4ptの改善を見込む⁽³⁾
Net有利子負債は、LIXILビバ売却決定を主因として、対20/3月末 1,975億円減少

LIXIL

(1) 親会社所有者帰属持分比率
(2) 1株当たり親会社所有者帰属持分

(3) 2020年6月度実績を基に試算。分母：総資産-売却目的で保有する資産+売却収入予定額； 13
分子：親会社帰属純資産+売却益計上見込み額

キャッシュフローの状況及び現金残高⁽¹⁾



営業キャッシュフロー：主として契約資産・負債を含めた運転資本の改善により、49億円の増加

投資キャッシュフロー：関連会社に対する持分の売却影響剥落を主因として117億円の減少

フリーキャッシュフロー：前年比67億円の減少

財務キャッシュフロー：手元資金確保のため短期借入金及びCPの増減 677億円や長期借入金の調達 300億円などにより1,043億円増加

LIXIL

(1) 非継続事業を含む
(2) 「FCF」=フリーキャッシュフロー
(3) 「その他」=為替換算影響額+売却保有目的資産に含まれる現金及び現金同等物

▶ (ご参考) 事業関連・ESG関連トピック

ニーズに対応した商品開発

耐風圧性能を強化したシャッターを新発売⁽¹⁾

大型台風から大切な家族と住まいを守り、
より安心・安全な暮らしへ



(写真：(左) 標準タイプ、(右) 耐風タイプ。リフォーム用は2020年5月より、
新築用は2020年7月1日より、全国で発売)

- ▶ 2014年以降、台風の大型化により、大規模な停電や屋根の損傷など住宅への被害が多発
- ▶ 安心・安全な暮らしをお届けできるよう、標準タイプについては、従来比1.5倍の台風圧性能となる1200Pa、耐風タイプについては性能を強化し、1600Paを実現したシャッターを開発

米国で浄水栓および浄水シャワーを発売⁽²⁾

American Standardが浄水技術を活用した
キッチン水栓を発表



(写真：「Saybrook」キッチン用浄水栓)

- ▶ 成長機会を捉えるため、海外で展開する水まわりのシナジー製品のポートフォリオを拡充
- ▶ 日本で開発された浄水技術と、American Standardのデザインを融合させ、エンドユーザーのニーズに応えるキッチン用浄水栓「Saybrook」を米国で発売、家庭で清潔で安全な水を確保したいという需要の高まりに対応
- ▶ American Standardの成長著しいeコマースチャネルで提供

ニーズに対応した商品開発

新型コロナウイルス感染拡大にむけた 手洗いソリューション

開発途上国における衛生環境改善を
後押しする「SATO Tap」を開発⁽¹⁾



世界では約30億人にのぼる人びとが、手洗い設備を利用できない⁽²⁾という課題に直面

- ▶ 低価格で持ち運び可能な「SATO Tap」を発表
 - ▶ 手洗いソリューションの迅速な提供のため総額約1億円を拠出
 - ▶ 国連児童基金（ユニセフ）との既存のパートナーシップを通じて、COVID-19の感染拡大防止に向けて手洗い、衛生分野での活動を拡充
 - ▶ SATO Tapの提供拡大と手洗い普及のため、様々なパートナーと連携
- COVID-19の感染拡大防止に向けた取り組みを呼びかけるSanitation and Water for All に初の日本企業として参加

医療防災現場の 仮設空間における課題の解決⁽³⁾

熊本赤十字病院・GK設計と
「withCUBE」を用いた課題解決策の構築



(左) 利用検証用「with CUBE」外観 (右上) 平常時の使用例 (右下) 非常時の使用例

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、医療災害救援においては、衛生的かつ、機動性やプライバシーが確保できる仮設空間の確保が重要
- ▶ 熊本赤十字病院、GK設計とともにこれらのニーズに合致し「withCUBE」を活用した共同研究を開始
- ▶ 共同研究の一環として、7月には令和2年7月豪雨災害の甚大な被害を受けた熊本県人吉市の避難所に「withCUBE」を設置。協同研究を通じて、医療・防災現場における仮設空間の利便性向上と衛生課題の解決を目指してまいります

LIXIL

(1) https://www.lixil.com/jp/news/pdf/SATO_Tap_web_J.pdf
https://www.lixil.com/jp/stories/stories_19

(2) 国連児童基金（ユニセフ）の最新調査によると、世界人口の40%が基本的な

手洗い設備が自宅でも利用できず、このような家庭の割合は、後発開発途上国においては75%にのぼります。

(3) ニュースリリース <https://newsrelease.lixil.co.jp/news/pdf/2020062501.pdf>

持続可能な事業に向けたソリューション：ユニバーサルデザイン・多様性の尊重

自宅の玄関ドアを自動ドアへ生まれ変わらせる 「DOAC」を新発売⁽¹⁾

簡単リフォームにより自宅をバリアフリーに。
ニューノーマル時代の
「タッチレス」（非接触）ニーズにも対応



(写真：「DOAC（ドアック）」。2020年8月3日より先行受注スタート。
2020年9月1日より全国で発売

- ▶ 「DOAC」は、世の中のニーズに迅速に応えるため、2019年4月に発足したLHT Japanのビジネスインキュベーションセンターによる第1号商品
- ▶ 車いすユーザーの誰の手も借りることのない外出、ベビーカーや重たい荷物を持った時の楽々開閉、さらには感染症対策として非接触に注目が集まる中、「タッチレス」操作を実現
- ▶ LIXILは健康、快適、安心・安全の実現に向けて、新しい暮らし方や働き方に対応する商品を展開してまいります

ダイバーシティの取り組みを強化

多様性を受け入れ、平等な扱いを徹底する
組織文化を醸成



多様性をもたらす活力と創造性が強みとなるよう、多様性を受け入れ、平等な扱いを徹底するために、ダイバーシティ&インクルージョン戦略とその方針を強化しています。

- ▶ 戦略および取り組みの内容を設定するため、CEOが議長を務め、経営層が参画するダイバーシティ&インクルージョン委員会を創設
- ▶ 「ダイバーシティ&インクルージョン ステートメント」⁽²⁾を通してこれまでの活動の強化と具体的な行動を起こすことを表明
- ▶ 人種差別の経験を共有する社内セッションを開催

LIXIL

(1) ニュースリリース <https://newsrelease.lixil.co.jp/news/pdf/2020070701.pdf>
(2) https://www.lixil.com/jp/pdf/200709-Statement_J.pdf

外部評価

主要な株式指数の構成銘柄への選定

FTSE4Good Index SeriesおよびMSCI Japan Empowering Women Indexの構成銘柄に4年連続で選定



2020 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

- 社外的責任投資の代表指数であるFTSE Russell社⁽¹⁾のFTSE4 Good Index Series、および、性別多様性の分野で優れた取り組みを行っている日本企業を対象とした「MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)」の構成銘柄に4年連続で選定
- また、S&P Dow Jones Indicesが開発したS&P Japan 500 ESG Indexの構成銘柄に2年連続で選定
- ESG分野における継続的な取り組みが高く評価されたもの

デザイン思考によるブランドの差別化

INAXのブランドとコミュニケーションカテゴリーで受賞の他、「Red Dot Awards in 2020」で19の賞を獲得



(写真：INAXブランドの商品群)

- 中期計画に基づき、デザイン力の強化を推進
- 新たな市場への展開に先立ち、INAXブランドが、昨年のGROHEの「ブランドオブザイヤー」に続き、ブランドとコミュニケーションのカテゴリーで3つの賞を獲得。
- 商品の分野では、LIXILの商業施設向け建材製品やGROHEの水栓金具などが受賞

LIXIL

(1) FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標です。

免責事項：株式会社LIXILグループのMSCI指数への組み入れ、及び本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社LIXILグループへの後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名前およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

➢ (ご参考) データ集

2021年3月期 第1四半期 セグメント別業績概況

▶ 主として全地域・全事業における新型コロナウイルス感染症拡大影響、および、前年の消費増税後の反動減により、LBTを除く全事業報告セグメントで減収減益

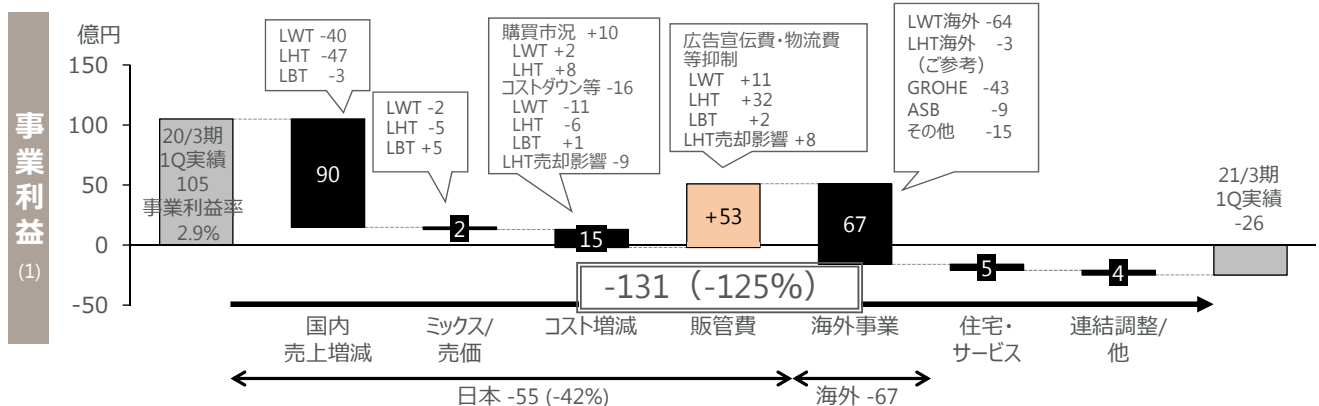
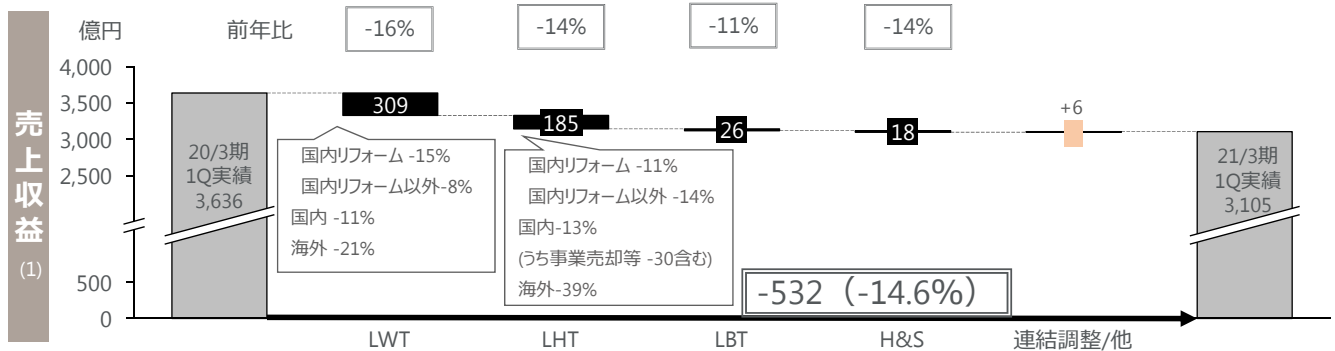
(億円)		第1四半期 3か月			
		20/3期 1Q 遡及修正後 実績 ⁽¹⁾	21/3期 1Q 実績	増減 金額	
				うち 為替影響	
LWT	売上収益	1,963	1,655	-30	-309
	事業利益	134	30	-2	-104
LHT	売上収益	1,358	1,173	-1	-185
	事業利益	75	52	0	-22
LBT	売上収益	239	213	-	-26
	事業利益	-14	-9	-	5
住宅・サービス事業等(H&S)	売上収益	131	113	-	-18
	事業利益	9	4	-	-5
全社/連結調整	売上収益	-54	-49	-	6
	事業利益	-100	-104	-	-4
合計	売上収益	3,636	3,105	-31	-532
	事業利益	105	-26	-2	-131



(1) ベルマステリーザ社とLIXILピバ社の株式売却を決定したことに伴い、ベルマステリーザ社及びその子会社、並びにLIXILピバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に組替

21

第1四半期 売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



(1) ベルマステリーザ社とLIXILピバ社の株式売却を決定したことに伴い、ベルマステリーザ社及びその子会社、並びにLIXILピバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に組替

22

第1四半期 その他収益・費用、金融収益・費用、関係会社持分の処分益 内訳

億円	20/3期 1Q 実績 遡及修正後 ⁽¹⁾	21/3期 1Q 実績	増減額
その他	7	8	1
その他の収益	7	8	1
有形固定資産除売却損	2	2	0
減損損失	0	2	2
その他	9	8	0
その他の費用	11	12	2
受取利息	2	2	0
受取配当金	8	8	0
デリバティブ評価益	10	0	-10 (A)
為替差益	0	49	49 (B)
金融収益	20	59	39
支払利息	12	11	-2
デリバティブ評価損	0	46	46 (B)
為替差損	13	0	-13 (A)
金融費用	25	57	32
関係会社に対する持分の処分益	110	-	-110

(A) 「デリバティブ評価益」は「為替差損」と両建てで表示されています。

20/3期 1Q 実績	
デリバティブ評価益	10
為替差損	-13
Net	-3 損

(B) 「為替差益」は「デリバティブ評価損」と両建てで表示されています。

21/3期 1Q 実績	
為替差益	49
デリバティブ評価損	-46
Net	3 益



(1) ベルマステリーザ社とLIXILビバ社の株式売却を決定したことに伴い、ベルマステリーザ社及びその子会社、並びにLIXILビバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に組替

23

セグメント別 実績

単位：億円		20/3期 1Q ⁽¹⁾			21/3期 1Q			前年 同期比%
		国内	海外	計	国内	海外	計	
LWT ⁽²⁾	売上	1,025	939	1,963	913	742	1,655	-15.7%
	事業利益	70	65	134	29	1	30	-77.6%
	%	6.8%	6.9%	6.8%	3.2%	0.1%	1.8%	-5.0pt
LHT	売上	1,332	26	1,358	1,158	16	1,173	-13.6%
	事業利益	74	0	75	55	-3	52	-29.9%
	%	5.6%	1.0%	5.5%	4.8%	-19.8%	4.5%	-1.0pt
LBT	売上	239		239	213		213	-10.8%
	事業利益	-14		-14	-9		-9	-
	%	-5.7%		-5.7%	-4.2%		-4.2%	+1.5pt
H&S	売上	131		131	113		113	-13.9%
	事業利益	9		9	4		4	-52.5%
	%	7.0%		7.0%	3.9%		3.9%	-3.2pt
連結調整・他 ⁽²⁾⁽³⁾	売上			-54			-49	-
	事業利益			-100			-104	-
LIXIL グループ ⁽³⁾	売上	2,726	965	3,636	2,396	757	3,105	-14.6%
	事業利益	140	65	105	80	-2	-26	-125.1%
	%	5.1%	6.7%	2.9%	3.3%	-0.3%	-0.8%	-3.7pt

(1) ベルマステリーザ社とLIXILビバ社の株式売却を決定したことに伴い、ベルマステリーザ社及びその子会社、並びにLIXILビバの事業を「非継続事業」に分類。比較のため前期も同様に組替えています

(2) LWTの一部子会社が行う「ハウジング事業」について重要性が高まったため、20/3期第2四半期から当該国内子会社の報告セグメントを「ハウジングテクノロジー」と「ウォーターテクノロジー」に分けて表示しています。そのため、20/3期第1四半期LWT、LHTの報告額についても遡って修正表示しています

(3) 国内・海外の売上/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額です



24

日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

▶新型コロナウイルス感染拡大により、施工現場となる居住中の住宅への訪問が控えられたこと、ショールームにおけるソーシャルディスタンス確保のため来場者抑制等を背景にリフォーム比率-0.8pt

リフォーム商材売上				リフォーム加盟店の推移			
億円	20/3期 1Q 実績 ⁽¹⁾	21/3期 1Q 実績	前年 同期比	店	19年 3月	20年 3月	20年 6月
リフォーム商材売上	741	662	-11%	LIXILリフォームショップ (FC)	571	554	547
リフォーム比率	36%	36%	-0.8pt	LIXILリフォームネット (ボランティア)	11,783	11,789	11,621
				リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	3,800	3,602	3,817

▶セグメント別リフォーム商材売上比率

セグメント	20/3期 1Q	21/3期 1Q	差
LWT	45%	43%	-2.1pt
LHT	32%	32%	-0.5pt
LBT	17% ⁽¹⁾	24%	+7.0pt
国内・計	36%	36%	-0.8pt

かんたんリフォームで、#おうち時間を幸せに実現する、プロモーションをスタート⁽²⁾

“おうち時間”の増加を前提とした「いつも」を、いかに快適・健康・安心・安全に過ごしていくか。

#非接触 #非対面 #換気 #ワークスペース #オン・オフ切替などをテーマに、新しい暮らし方・働き方に向けたリフォームアイデアを提案



(1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正しています
(2) キャンペーンサイト <https://www.lixil.co.jp/ouchijikan/>

商品・サービス別売上状況

セグメント	主要商品名	(単位：億円)				(単位：%)				
		20/3期 通期実績 ⁽¹⁾	20/3期 1Q実績 ⁽¹⁾	21/3期 1Q実績 ⁽¹⁾	前年 同期比 (%)	前年同期比				21/3期 1Q
						20/3期				
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q						
LWT	衛生機器**	1,060	238	242	1.5%	1.4	10.9	0.2	-1.9	1.5
	バスルーム	1,005	249	197	-20.8%	-1.4	11.2	0.8	-5.8	-20.8
	洗面化粧台**	376	86	79	-8.5%	0.6	12.6	-4.4	-0.7	-8.5
	キッチン	1,114	264	225	-14.8%	0.2	11.3	-5.4	-8.6	-14.8
	タイル	363	83	79	-5.3%	-5.0	5.1	-8.2	-6.3	-5.3
LHT	住宅サッシ	1,900	471	420	-10.7%	5.5	10.2	-4.1	-2.7	-10.7
	エクステリア	1,101	278	252	-9.4%	5.5	13.4	-10.3	-9.0	-9.4
	インテリア建材	698	168	154	-8.1%	16.1	20.8	1.4	0.2	-8.1
	その他LHT	816	206	144	-30.0%	7.6	4.0	-19.3	-14.9	-30.0
LBT	ビルサッシ	1,128	239	213	-10.8%	0.4	0.3	2.2	-12.4	-10.8
H&S	住宅・サービス事業	540	131	113	-13.9%	6.0	-1.0	-6.9	-20.3	-13.9
	海外売上	3,986	965	757	-21.5%					
	その他・連結調整等	1,057	260	230	-					
	売上合計	15,144	3,636	3,105	-14.6%					

(ご参考) **「衛生機器」「洗面化粧台」に含まれる水栓金具の売上状況

LWT	水栓金具	178	43	48	13.5%	1.4	13.2	3.7	6.9	13.5
-----	------	-----	----	----	-------	-----	------	-----	-----	------

(1) 2020/3期 第4四半期でベルマステリーザ社及びその子会社の事業の非継続事業への振り替えに伴い、通期前年度実績を遡及修正。
2020/6/9公表 LIXILビバの売却決定により当第1四半期よりD&R事業を非継続事業に振り替え。通期前年実績も遡及修正。

主要海外子会社業績

会社名		ASB (ASD Holdings)			
通貨・単位		単位：百万米ドル			
決算期	20/3期 1Q 実績	21/3期 1Q 実績	前年同期比		
為替レート(期中平均レート)	110.00	107.74	-		
売上高	303	259	-15%		
事業利益	14	6	-56%		
事業利益率	5%	2%	-2.3pt		

決算期	20/3期 期末残高	21/3期 1Q (3か月)		期末残高
		償却額	その他 ⁽¹⁾	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	108.83	107.74	-	107.74
のれん	231	-	-	231
無形資産	214	-2	0	213

会社名		Grohe Group (グロ-エ) ⁽²⁾			
通貨・単位		単位：百万ユーロ			
決算期	20/3期 1Q 実績	21/3期 1Q 実績	前年同期比	(参考) LIXIL Africa影響 除く前年同期比 ⁽²⁾	
為替レート(期中平均レート)	123.29	118.94	-	-	
売上高	376	281	-25%	-23%	
事業利益	35	1	-97%	-98%	
事業利益率	9%	0%	-9.1pt	-10.2pt	

決算期	20/3期 期末残高	21/3期 1Q (3か月)		期末残高
		償却額	その他 ⁽¹⁾	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	119.55	118.94	-	121.08
のれん	1,208	-	-1	1,206
無形資産	1,451	-6	0	1,446

LIXIL

(1) 為替換算差額など
(2) 2019/7よりLIXIL Africa (旧GDWT) はGrohe Group傘下から(株)LIXILの子会社となっています

27

主要海外子会社業績

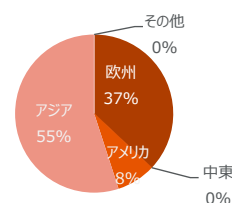
会社名		Permasteelisa (ペルマスティリーザ) ⁽¹⁾		
通貨・単位		単位：百万ユーロ		
決算期	20/3期 1Q 実績	21/3期 1Q 実績	前年同期比	
為替レート(期中平均レート)	123.29	118.94	-	
売上高	307	195	-36%	
事業利益	-13	-25	-	
事業利益率	-	-	-	

決算期	20/3期 期末残高	21/3期 1Q (3か月)			期末残高
		償却額	減損	その他 ⁽³⁾	
為替レート(残高は期末レート、償却は期中平均レート)	119.55	118.94	-	-	121.08
のれん	-	-	-	-	-
無形資産	-	-	-	-	-
工事損失引当金 ⁽²⁾	33	-	-	-1	32

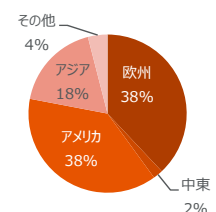
■ 受注状況

通貨・単位		単位：百万ユーロ	
決算期	20/3期 1Q 実績	21/3期 1Q 実績	
新規受注	149	110	
期末残高	1,780	1,492	

21/3期 1Q 新規受注額



21/3期 1Q 受注残高



LIXIL

(1) ペルマスティリーザ社の株式譲渡の決定に伴い、2020年3月期第4四半期より、非継続事業に分類
(2) 連結業績では工事損失引当金は税引後の金額により非継続事業の損失として別掲
(3) 為替換算差額、引当金純増減額など

28

(ご参考：データ集) 過年度遡及修正後数値 (1) 連結損益計算書

▶ペルマスティリーザ、LIXILビバから生じた事業等損益を「非継続損益」に振替後の過年度数値

(億円)	2019/9 累計期間 (監査前)	2019/12 累計期間 (監査前)	2020/3 累計期間 (監査前)
売上収益	7,595	11,492	15,144
売上原価	-5,046	-7,645	-10,118
売上総利益	2,549	3,847	5,026
販売費及び一般管理費	-2,209	-3,322	-4,503
事業利益	340	525	523
その他の収益	42	54	61
その他の費用	-47	-84	-263
営業利益	336	495	320
金融収益	44	32	48
金融費用	-53	-44	-72
持分法による投資利益(損失)	0	0	3
関連会社に対する持分の処分益	110	110	110
税引前利益(損失)	437	593	409
法人所得税費用	-135	-186	-132
継続事業からの当期利益	302	407	277
非継続事業からの当期利益	-50	-81	-141
当期利益(損失)	252	326	137
非支配持分に帰属する当期損益	21	19	12
親会社の所有者に帰属する当期損益	231	307	125
基本的1株当たり当期利益(損失)(円)	79.75	105.79	43.15
希薄化後1株当たり当期利益(損失)(円)	72.31	95.99	39.65

LIXIL

29

(ご参考：データ集) 過年度遡及修正後数値 (2) セグメント別

▶ペルマスティリーザ、LIXILビバから生じた事業等損益を「非継続損益」に振替後の過年度数値

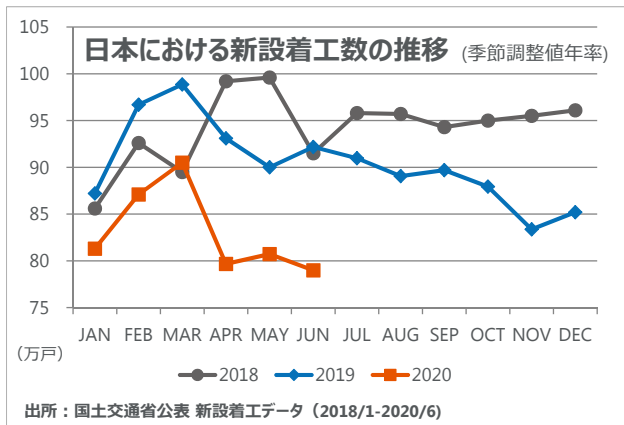
単位：億円		20/3期 2Q			20/3期 3Q			20/3期 4Q		
		国内	海外	計	国内	海外	計	国内	海外	計
LWT	売上	2,187	1,921	4,108	3,331	2,905	6,236	4,382	3,903	8,285
	事業利益	172	162	333	274	248	522	294	321	615
	%	7.8%	8.4%	8.1%	8.2%	8.5%	8.4%	6.7%	8.2%	7.4%
LHT	売上	2,742	49	2,791	4,106	66	4,171	5,339	83	5,422
	事業利益	181	1	182	271	-5	266	292	-9	283
	%	6.6%	1.6%	6.5%	6.6%	-	6.4%	5.5%	-	5.2%
LBT	売上	544		544	855		855	1,128		1,128
	事業利益	7		7	16		16	27		27
	%	1.4%		1.4%	1.9%		1.9%	2.4%		2.4%
H&S	売上	268		268	406		406	540		540
	事業利益	18		18	27		27	30		30
	%	6.6%		6.6%	6.5%		6.5%	5.5%		5.5%
連結調整・他 ⁽¹⁾	売上			-116			-176			-231
	事業利益			-200			-306			-432
LIXIL グループ ⁽¹⁾	売上	5,741	1,970	7,595	8,698	2,971	11,492	11,389	3,986	15,144
	事業利益	378	163	340	588	243	525	642	313	523
	%	6.6%	8.2%	4.5%	6.8%	8.2%	4.6%	5.6%	7.8%	3.5%

LIXIL

(1) 国内・海外の売上/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額です

30

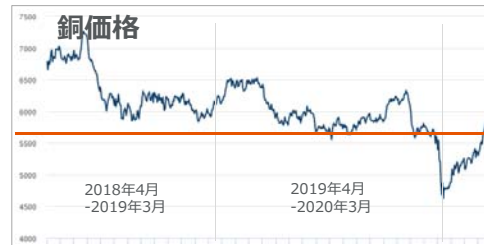
事業環境



新築着工水準 (対前年比)

- 2020/4-6： -12.7%
- 2020/1-3： -9.7%

	2020年1月-6月 (6ヵ月)		2020年4月-6月 (3ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	398,120	-11.4%	203,945	-12.7%
持家(1)	124,282	-13.7%	64,361	-18.2%
貸家	149,012	-11.0%	75,682	-12.3%
分譲マンション	53,924	-10.2%	28,282	0.1%
分譲戸建(2)	67,108	-7.4%	33,704	-10.6%
戸建合計(1)+(2)	191,390	-11.6%	98,065	-15.7%



為替 (期中平均レート)	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 計画 前提
米ドル	110.69円	109.10円	115.0円
ユーロ	128.43円	121.14円	126.5円

原材料価格の 実績	19/3期 実績	20/3期 実績	21/3期 計画 前提
アルミ価格 (購入ベース)	24.9万円/トン	21.5万円/トン	20.9万円/トン
銅価格	63.2万円/トン	58.6万円/トン	64.8万円/トン

LIXIL

31

LIXIL
Link to Good Living

この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。